

9 竣工南倉内部一階東面

西南より見る。南倉一階には壁面だけでなく、中央にも1個ガラス戸付陳列棚が置かれていた。また、組み立てられていない陳列棚もあったので、今回それも組み立て、元々あったものと並べて設置した（左側）。

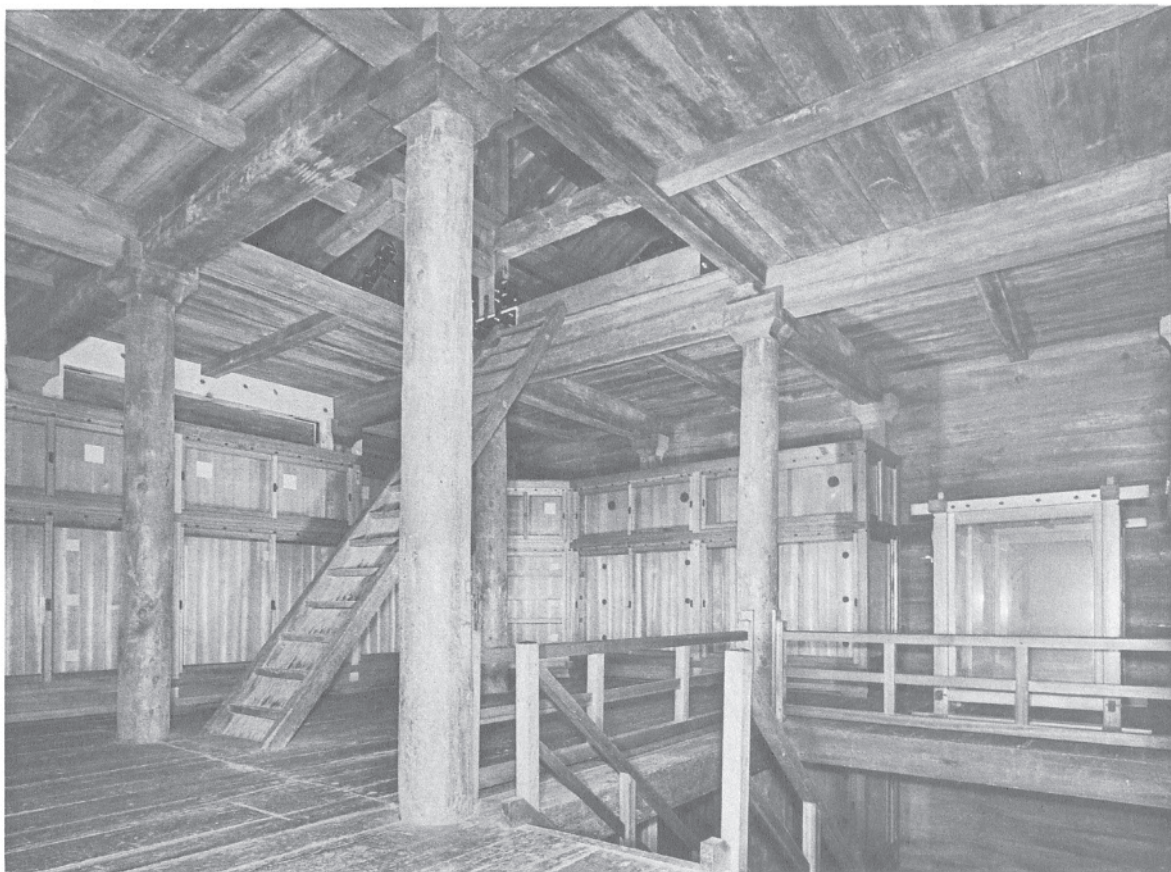


10 竣工南倉内部一階南面及び西面

東北より見た南倉一階の竣工の状況。隅には、補強で挿入した支持柱が見える。



11 竣工南倉内部二階東面
西北より見た南倉二階の東面。敷桁を補強するために入れた受け材と支持柱の様子がよくわかる。



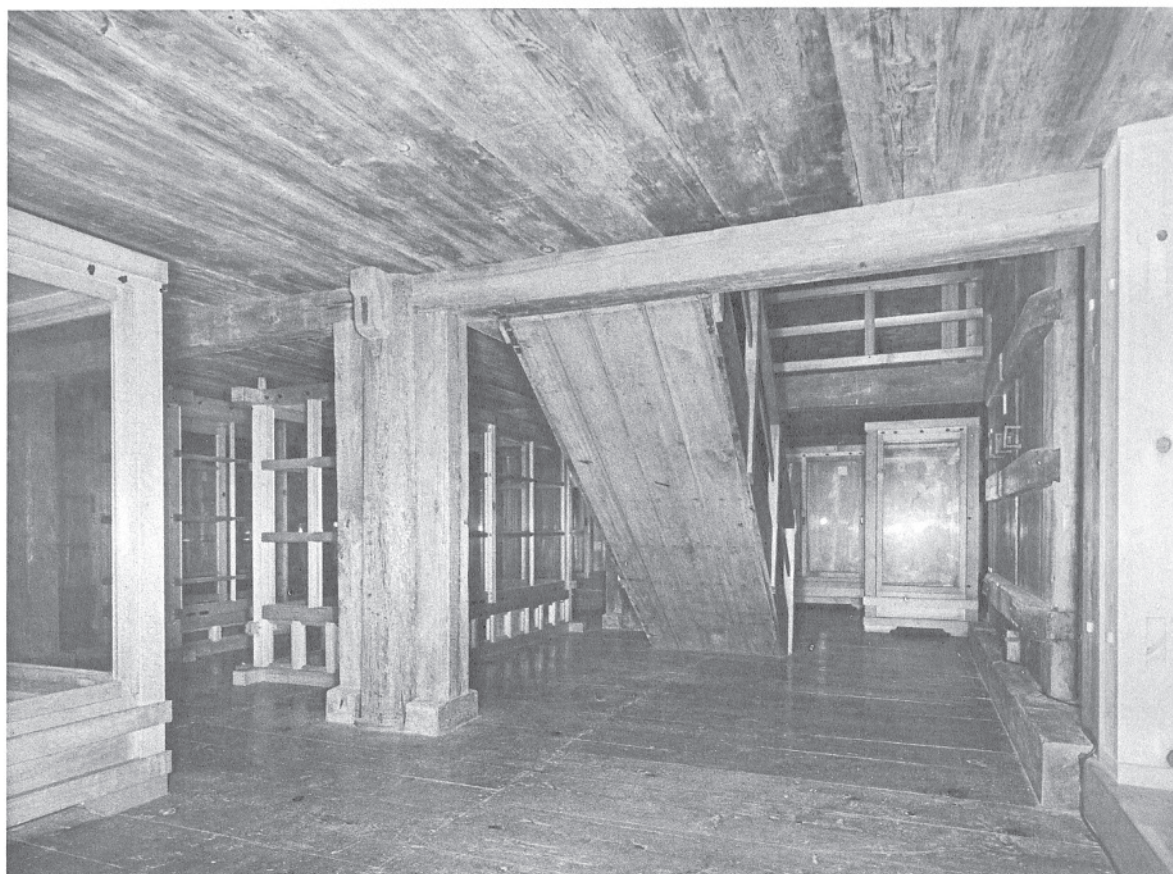
12 竣工南倉内部二階西面及び北面
東南より見る。南倉二階には、竣工に合わせて聖語蔵からガラス戸付陳列棚を1台移して設置した。



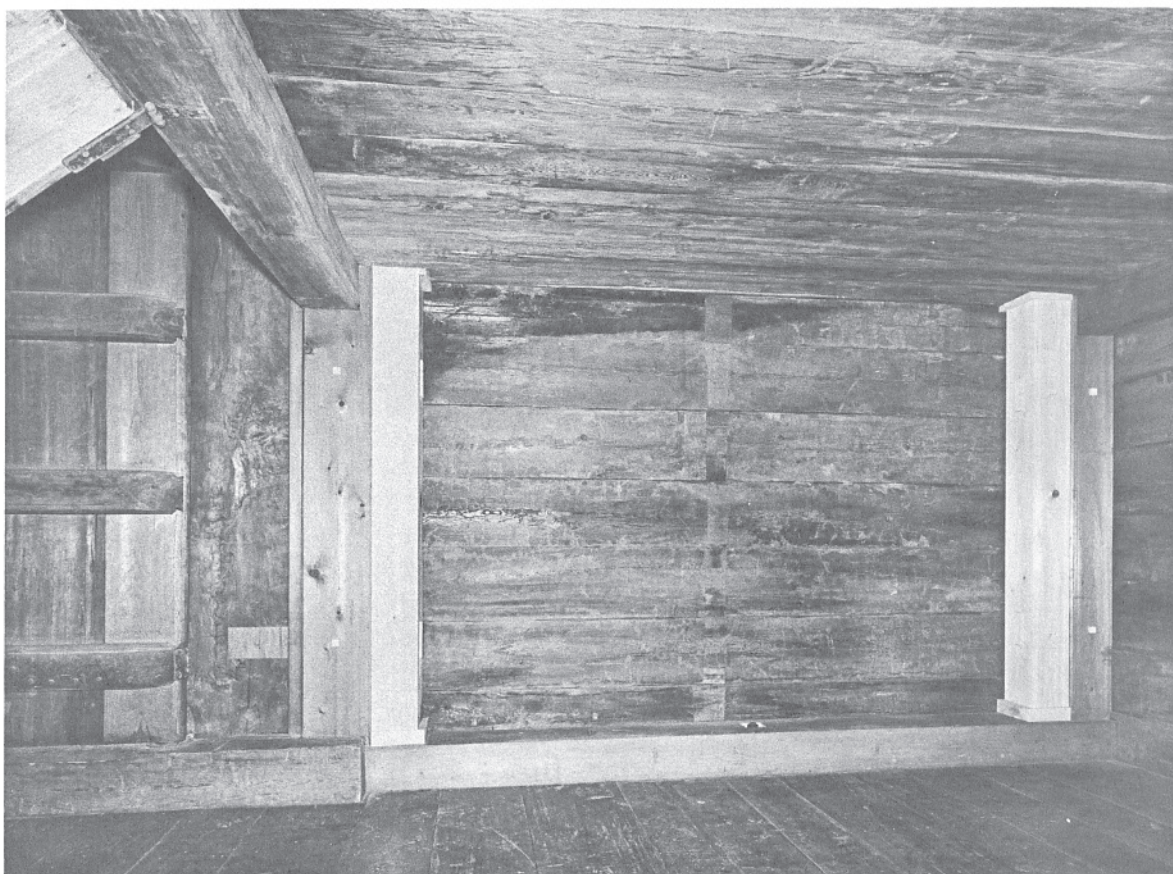
13 竣工中倉内部一階南面
唐櫃を戻した中倉一階の状況。西北より見る。唐櫃はガラス戸付陳列棚内にも納まっている。



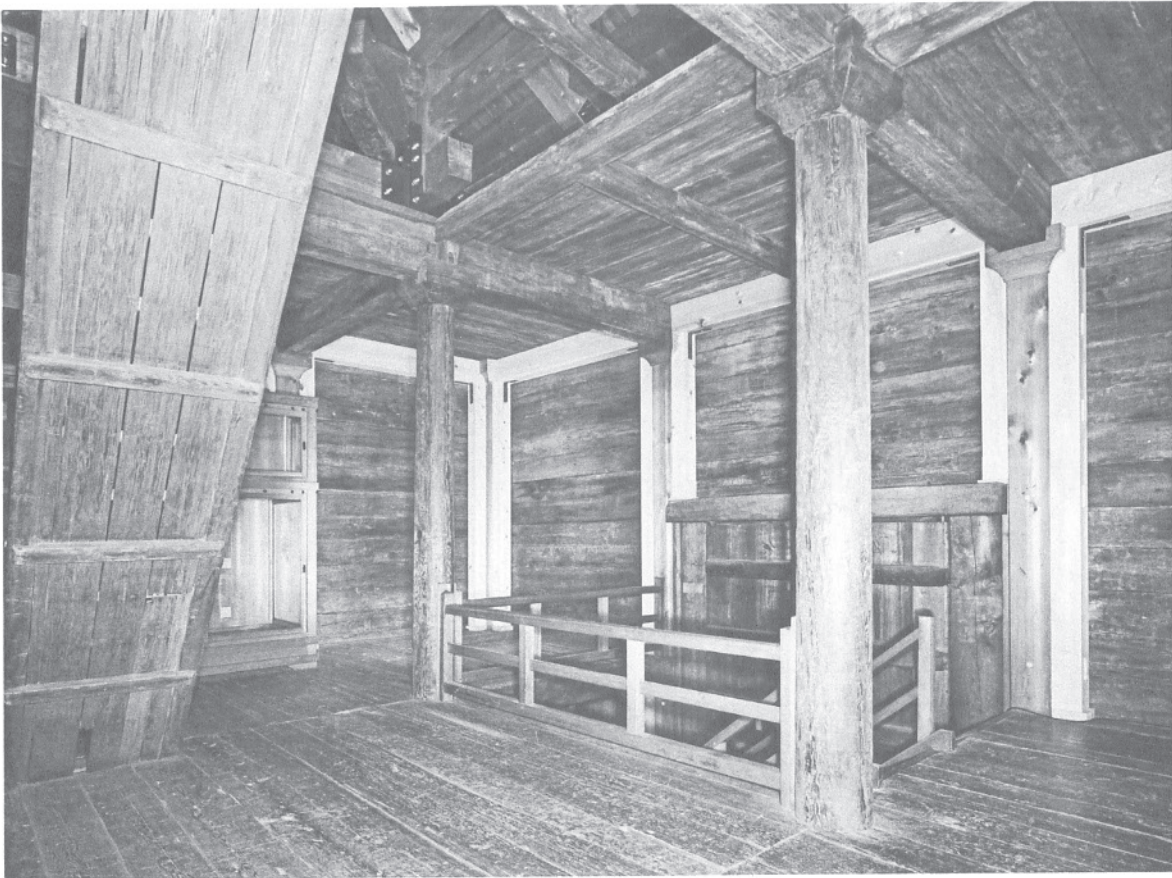
14 竣工中倉内部二階南面
唐櫃を戻した中倉二階の状況。東北より見る。唐櫃以外の展示用に使われていた棚なども納められている。



15 竣工北倉内部一階北面
東南より見る。北倉一階のガラス戸付陳列棚の様子がわかり、東面の扉も写る。



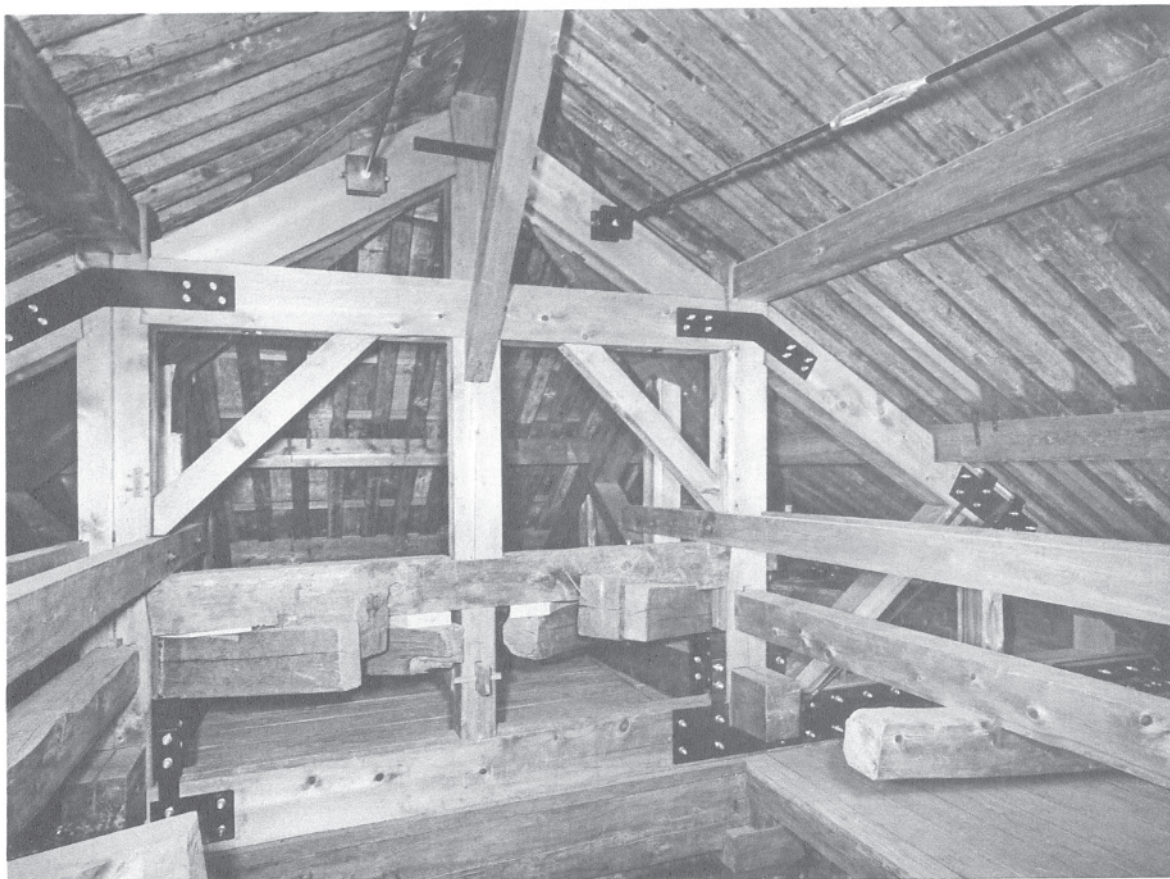
16 竣工北倉内部一階東面南寄りの壁面
西より見る。建長六年（1254）の落雷による火災の跡と思われる焦げ跡が残る。隅と扉際に補強の支持柱を付加した。



17 竣工北倉内部二階東面
西南より見る。敷桁を補強した受け材と補強の支持柱の様子がよくわかる。

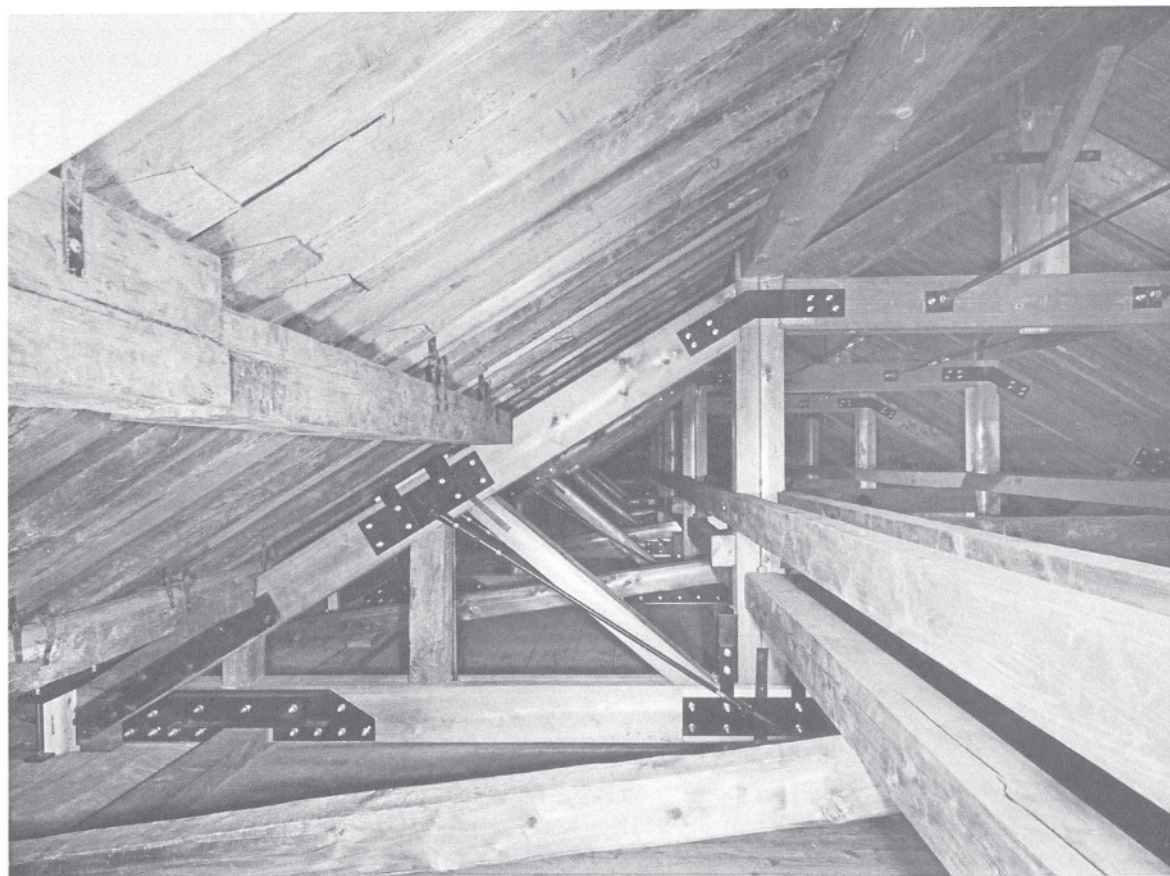


18 竣工北倉内部二階南面及び西面
東北より見る。西面には敷桁受け材と補強の支持柱が見える。中倉境となる南面には敷桁がないため、補強材は入らない。



19 竣工小屋組トラス詳細

北倉の小屋裏を西南より見る。大正期の修理で入れた隅桔木の尻に飼物を入れて効かせた。上部に見える鋼棒とターンバックルは、隅合掌同士を引き付けた部材の尻をさらに桁行方向にも繋いだものである。



20 竣工小屋組トラス軒部詳細

トラスの先端部分。部材同士の交点に入っていなかった斜材や陸梁の敷桁位置に補強金物を付加した。